

空き店舗を活用し、テナントミックス事業とチャレンジショップ事業を同時に行うことで街並みの賑わい創出を図る。

## 長門商工会議所

機関名	長門商工会議所			
所在地	山口県長門市東深川 1 3 2 1 番地の 1			
電話番号	0 8 7 3 - 2 2 - 2 2 6 6			
地域概要	(1)管内人口	2.4 千人	(2)管内商店街数	3 商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	1	(2)会員数	56 商店
	(3)空店舗率	30%	(4)大型店空き店舗数	2
	仙崎みすゞ通り商店街			
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

### 【事業名と実施年度】

平成 16 年度	空き店舗対策事業	・テナントミックス事業 ・チャレンジショップ事業
	総事業費	8,943 千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

長門市は、山口県の北西部に位置し、北長門海岸の美しい海岸線、ゲンジボタルやエビネ、ハマユウなどの貴重な動植物など、自然に恵まれた都市である。童謡詩人金子みすゞの生誕地としても知られ、同市の観光資源のネットワーク化により、体験・滞在・反復型の観光の振興を図り、若者や女性、高齢者などすべての住民がはつらつと働く、活気に満ちた街づくりを進めている。

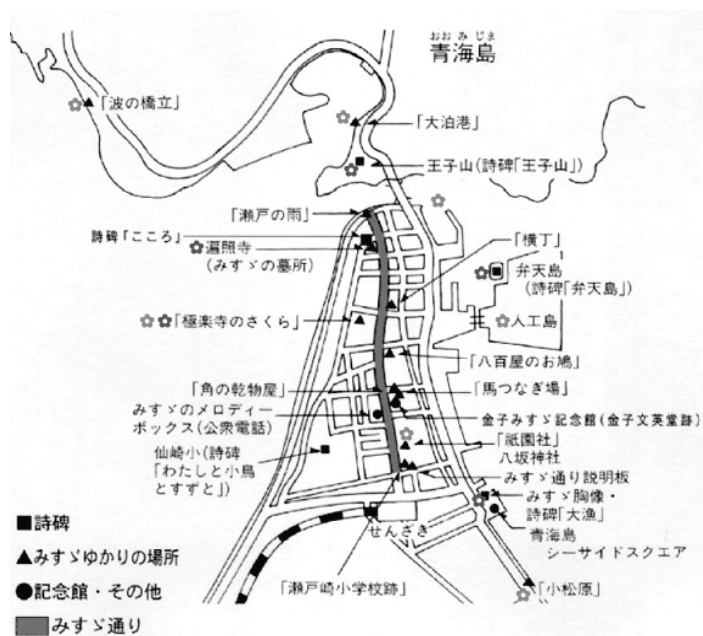


長門市位置図（長門市HPより）

平成 15 年 4 月、長門市仙崎の中央に金子みすゞ記念館が開館し、開館後約 2 年間で 35 万人弱の方が仙崎みすゞ通りを訪れている。しかし、仙崎みすゞ通りは、昭和 40 年代をピークに衰退の一途をたどっており、商店街としての機能は喪失している状態である。

本事業の目的は、金子みすゞ記念館の開館を契機に商店街の活性化を図り、来街者を接遇する施設（不足業種の飲食店等）を充実させ、仙崎の街並みを快適に散策できる環境を整備することである。併せて、①公共のトイレ（平成 17 年 3 月末一部完成）の設置、②次年度以降の継続事業として、本施設に併設する仙崎歴史資料館等を新たな仙崎の情報発信の拠点として整備すること、③本施設の 2 階の会議室を地域住民に開放しコミュニティ施

設としての機能も付加することにより、観光客に限らず地元住民交流の場を充実させること、④本通りに新規に開業しようとしている創業者に家賃助成制度を設け、創業者を援助し経営の安定化を図ること、なども本事業の目的としている。



仙崎みすゞ通りの地図



仙崎みすゞ通り

※仙崎みすゞ通り

仙崎は幻の童謡詩人「金子みすゞ」の生誕地である。仙崎駅から北に約1キロの道をみすゞ通りといい、みすゞゆかりの場所や詩碑が点在している。

2. 事業内容

(1) テナントミックス事業

仙崎みすゞ通りの空き店舗を長門商工会議所が借り上げ、飲食店等に対応できるように改装を加え下記条件で転貸した。

- ① 総事業費 : 7,343 千円
- ② 補助対象事業費 : 3,990 千円
- ③ 事業期間 : 7月～3月
- ④ 物件の詳細
  - 1) 改装物件 旧 J A長門大津仙崎支所跡
  - 2) 所在地 長門市仙崎 1410 番地 1 他
  - 3) 敷地 1105.11 m<sup>2</sup>
  - 4) 建物 475.20 m<sup>2</sup>
- ⑤ 入店条件等
  - 1) 事業創業者であること
  - 2) 創業後、長門市に住民票を移すこと
  - 3) 賃貸料 金融部跡 45.0 坪 45,000 円/月  
購買部跡 12.4 坪 20,000 円/月
- ⑥ 出店業種 : 仙崎みすゞ通りの不足業種 (飲食業及び土産品の販売等)

⑦ 入店者及び予定者

1) 金融部跡

業種：飲食業（喫茶店）

開店日：平成 16 年 7 月 23 日

店舗名：廣田珈琲店

2) 購買部跡

業種：飲食業（中華主体の創作料理）

開店日：平成 17 年 5 月 10 日

店舗名：桃屋食堂



廣田珈琲店

(2) チャレンジショップ事業

仙崎みずゞ通りの空き店舗を商工会議所が借り上げ、下記の条件に適應する者に転貸し、家賃助成をした。

① 総事業費：1,600 千円

② 補助対象事業費：800 千円

③ 事業期間：7月～3月

1) 新規創業者であること

2) 創業後、長門市に住民票を移すことが可能な者

3) 助成内容：賃貸料の 50%を助成する。但し、上限は 30,000 円とする。

4) 出店業種：仙崎みずゞ通りの不足業種（飲食店及び土産品の販売等）

5) 入店者

・(有)ムラキヨ商事：輸入雑貨販売 5 坪

・酔水：軽食・居酒屋 11 坪

・竹工房：竹細工販売 20 坪

※上記 3 店舗とも補助期間終了後に独立開業した。竹工房は独立開業後 1 年ほどで廃業し、(有)ムラキヨ商事、酔水の 2 店については現在も事業を継続中である。

【 効 果 】

1. 来街者の行動

平成 16 年の秋に NHK の B S の番組に取り上げられ仙崎地区以外の顧客が増加した。また、市外の顧客もリピーターとして来店されるようになった。

2. PR

告知が十分に行き渡っていなかったが、本事業の PR 番組（長門ケーブルテレビ）以後、深川地区の顧客が多少増加した。今後のリピーターにつながるように期待している。

3. 近隣個店への波及

みずゞ記念館の開店と、今まで休憩できる場所がなかった本通りに喫茶店（廣田珈琲店）が開業したことで人通りが多くなり、自然と周辺の個店も店構えに気をつけるようになった。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

### 1. 人的体制

商店街を形成する事業者の高齢化が進み、なにかと行政に頼ってしまっている。後継者等の育成が急務となっている。

### 2. 事業の合意形成

事業の合意形成についての段階で、商店街の方々にもう少し積極的に参画されることを望む。

### 3. チャレンジショップの商品構成

チャレンジショップの輸入雑貨店について、直接売上に結びつかない商品アイテムとして中国雑貨がある。中国雑貨が仙崎の地とミスマッチである可能性がある。今後は、当地にちなんだ商品を探し販売していくことで売上増加に繋げることが課題である。

## 【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

補助金である以上、様々な制約があるのは当然なので、補助金はあればよい程度に考えないと何のための事業かわからなくなる。

## 【 関 連 U R L 】

長門商工会議所HP <http://www.ncci.or.jp/>